

溶接技能者評価試験の受験上の注意

(技能実習生のための評価試験)

溶接作業中は安全作業に徹し、災害のないよう注意してください。

学科試験について

1. 筆記用具（えんぴつ、消しゴム）をご持参ください。試験時間は1時間です。
2. 試験中は静かに。カンニング等不正と認められる行為があった場合は即時退場、失格です。

実技試験について

1. **安全服装**で来てください。

持参するもの： 溶接棒、ワイヤー（申請したもの）、
※MG-50T(1.2mm)で申請された方は会場で用意しています。持参不要。
遮光面、チップングハンマー、ワイヤーブラシ、ヤスリ、保護具等

2. 実技試験は、次の順序で行います。

使用溶接機の選定、溶接開始等、すべて係員の指示に従ってください。

①受付→②材料の支給→③開先加工→④仮付け→⑤本溶接
→⑥あとかたづけ（清掃）→⑦提出→⑧終了 ※③開先加工は学科受験後でもよい

3. 不明点、疑問点は係員に申し出て指示を受けてください。
4. 溶接姿勢を示す刻印は、F…下向、V…立向、H…横向、O…上向 です。
間違えないように注意してください。

5. 注意事項

- 1) 溶接を開始（仮付け含む）したら、やり直しは認めません。
- 2) **仮付け後はチェックしてもらうこと**。チェックなしで本溶接をはじめると失格になります。
- 3) 立向試験材において、下進溶接を採用する場合は、必ず係員に申し出てください。
- 4) **禁止事項（違反すると失格になる場合があります）**
 - ①**受験者以外**は試験会場区域に**立ち入らない**。
 - ②本溶接の試験前は電流調整のみとし、**練習することはできない**。
 - ③治具や作業台には絶対にアークを出さないこと。（調整板を用意しています）
 - ④溶接を開始したら、溶接部の欠陥を取り除くためにグラインダー、ヤスリ、タガネ等で切削したり仕上げたりはできない。またアークで流すこともできない。
 - ⑤裏側からの溶接はできない。

6. 試験が終了したらあとかたづけをし、作業場所は清掃してください。